京城日報
朝刊
京城府太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社京城日報社

あす、バタアン攻略一周年

典型的な近代戰

想起す米鬼非道の數々

齋藤比島軍報道部長談

【マニラ十日同盟】十二日のバタアン攻略一周年に際し、齋藤比島派遣軍報道部長は十日左の如き談話を發表した

バタアン半島の攻略戰がわが方の赫々たる勝利に終つて以來、早くも一年の日月を閲し、こゝにその一周年記念日を迎ふるに當り、まづ天險の地バタアンの戰場に華と散り、或ひは尊い血を流した忠勇無比なる皇軍將兵に限りなき感謝と敬弔の意を表するものである

米英擊滅の征戰が宣せられてよりわづか三週間にして成就された電擊的マニラ占領の花々しさに比較して、このバタアン作戰は極めて地味な印象を與へ勝ちであるがこれは前者は野戰であるのに對し後者は要塞戰であるからである、故にバタアンにおいては攻める皇軍にとつては容易ならぬ戰場だつたのである、すなはちバタアン半島はナチブ、サマツトおよびマリベレスなど峻險なる山岳とジャングルより成る天嶮の地であつて、米比軍がこれにあらゆる人工的防備を施した一つの大要塞であつた、米軍當局のデマ宣傳により、米本土よりの援軍が到着すると確信してゐた米比軍をかゝる天嶮の地において攻めることの困難は決して生やさしいものではなく生命を鴻毛の輕きに置く日本軍にしてはじめて行ひ得たところであつた、バタアンを頑守した米比軍最後の希望はいはゆる『鐵艦六百哩にわたる米大護送船團』なる幻想に望みをかけ、空しい抵抗を續けたのであるが、皇軍の果敢なる攻擊の前には所詮抗すべくもなく、總攻擊開始後旬日を出ずして脆くも消え去つたのである

昭和十七年四月三日より展開せられたる皇軍の決然たる攻擊は實に近代戰の典型的樣相を示したものといへよう、サマツト山正面の敵主要抵抗線の中央部を突破された米比軍は拾收不可能なる潰亂狀態に陷り、四月九日にはキング軍司令官の降伏となり、同十一日にはバタアン半島全島占領となり、さしも難攻不落を誇つたバタアン要塞は遂にわが軍門に降つたのである、この記念日を迎ふるに當り、特に吾人の腦裡に生々しく浮き出されるのは當の責任者たる米國軍は終始一貫安全なる後方に深く潛んで、安眠飽食を恣にしつゝあつただに引換へ、敵の前線にも比島軍は第一線に出されて、わが砲火にさらされ、危險とマラリヤの苦悶に喘いでゐたのである、降伏の際極度の榮養不足と病苦に痩せ衰へた比島兵と、元氣な米國兵を同時に目にした日本將兵は、これが同一陣營で戰つた戰友であるか否かを疑つた位であつた、それにつれても、米國人の非道振りには斷然怒りを禁じ得ず、正義人道を表看板とする散髮紳士米人の正體をまざまざと見せつけられたのである、米國自らが挑發した戰爭でありながら、いざ戰爭となれば比島兵を第一線に狩立てゝ存分に血の犧牲を仕拂はせ、敵はずとみるや、米人は早速手を上げて生命の安全をはかつたのである、何たる卑劣さであらう、身は東亞米軍總司令官の重責にありながら危機到るを知るや、部下を見捨てゝ濠洲に遁走したマツカーサーの恥れて恥なき振舞ひは如何なる辯明をもつてしても到底日本男子の納得し得ないところである

比島人諸子、特に皇軍の寬仁によつて自由の身となつてゐる前比島兵諸子はこの事實を靜かに再檢討せられるがよい、目的のない他國の戰爭のために捨てずともよい命をバタアンの戰場に捨てた諸子の父兄または戰友は必ずや今なほ喘々たる鬼哭を放つてゐることであらう、諸子の父兄および戰友を殺したものは誰でもない米國人である、米は比島を戰場と化し、家を燒き、橋梁を落して通路を破壞し、船舶をしずめたのは米國軍である、人間の假面をかぶつた鬼米人である、東亞細亞支配の野望を達せんがため米英兩國は日本を孤立せしめ經濟的には封鎖を敢へてし、武力的には包圍圈を形成して存分に日本の存立を脅威した結果大東亞戰爭の勃發となり、米英の東亞からの全面的敗退となつたのである、彼が再び東亞の天地に舞ひ戾るが如きは絕無である、かつては猛烈な彼我の砲火に曝されたバタアン半島も今や全く平和の息吹きを取戾し、住民は雄々しくも新たなる建設に邁進してゐる、戰場においては敵であつた比島兵も世界戰史上に類例なき皇軍の仁慈ある取扱ひによつて釋放せられ、各方面の建設部門に活潑な活動をつゞけてゐる、バタアンで拂つた血の犧牲は新比島建設の基礎となり近き將來に必ずや達成されるであらう、新比島建設の人柱となるならば、亡き地下の靈もまたもつて瞑すべきである、日本が今日拂ひつゝある多大の犧牲も小にしては比島を本然の姿に返し、大にしては東亞十億の民衆をアングロサクソンの支配から解放し得た曉にこそ正當に報いられることゝなるのである

畏し地方長官に御陪食の御沙汰

【東京電話】畏くも天皇陛下には十二日地方長官會議招集の趣き聞召され、同日正午一同を宮中豐明殿に召させられ、午餐の御陪食を仰付けられる旨御沙汰あらせられた、なほこの日陛下には午前、午後にわたり各地方長官より決戰下各地の民情および產業、文化の實情などを具さに御聽取あらせられる御豫定と漏る、常に民草の上に深く大御心を注がせ給ふ陛下にはさきに全國外地にまで侍從御差遣のことあり、また生產工場などに侍從武官を御差遣あらせられ、ありのまゝの實情を具さに視察せしめられたが、この度御例により長時間にわたつて各長官に拜謁仰付けられ、征戰下一億總努力をつゞける銃後地方の民情をはじめ一々御聽取あらせられ給ふ聖慮のほど民草のあげて恐懼し奉るところである

電鍵打つ手も輕く戰果を報告する機上電信兵（寺尾海軍報道班員撮影 海軍省許可濟第一〇一號）＝電送

フオード工場罷業

【ブエノスアイレス九日同盟】デトロイト來電＝リバー・ルージュにあるフオード會社の二軍需工業の從業員三千二百名は九日同時に罷業に入つた、現在迄のところ爭議の原因は何ら發表されてゐない

荒鷲、涇縣等を猛爆

【廣東十日同盟】重慶來電によればわが荒鷲部隊は九日午前九時頃安徽省南部の涇縣、太平、休寧、江西省東部上饒玉山一帶を空襲した

アキヤブ奪還不能

英率直に敗退を自認

【ストツクホルム九日同盟】マユ南部におけるわが陸軍の作戰進捗により印度派遣英軍はもろくも敗退し、英軍が豪語する"ビルマ奪還"は一場の夢物語と化するに至つてゐるが、ロンドン來電によれば、九日附のタイムス紙はビルマ戰況報道を第一面に揭げ英軍の後退を率直に認め次の如く泣ごとを述べてゐる

英軍はマユ河畔の陣地撤退を餘儀なくされ、現在僅かにドンバイク北方とラチドンの東方に陣地を持つてゐるだけて、日本軍の壓迫が刻々迫つてゐる今日アキヤブ奪還のごときことは望み得ないことだ

相次ぐ捷報に 全ビルマ沸く

【ラングーン十日同盟】印緬國境に展開せられた今次英印軍の大包圍戰の相次ぐ皇軍の捷報はその都度ビルマ全土に逸早く報道せられ、ビルマ人は今更ながら底知れぬ皇軍の實力に對し信賴の念を深めてゐるが、特に十日はわが精鋭がベンガル灣において英印軍第六旅團を殲滅、この旅團長を捕虜としたとの大本營發表は當地唯一の英字紙グレーター・エシヤーの號外として市內繁華街に貼り出され、この特報の周りに集つたビルマ人は『數日後に迫つたビルマのお正月になによりの贈り物を日本軍から貰つた』と大喜びをしてゐる

交戰敵六千

河南綜合戰果

【開封十日同盟】三月中における河南省〇〇部隊の綜合戰果左の如し

交戰回數二三四、交戰敵兵力六〇三八、敵遺棄死體一、〇五三、捕虜三九一、鹵獲品、小銃五九八、輕機一七、迫擊砲一

伊、土經濟協定締結

【イスタンブール八日同盟】アンカラ來電＝トルコ政府はイタリヤ、トルコ間に百萬ポンド（トルコポンド）に上る經濟協定が締結された旨八日發表した

米の連續會議の狙ひ

挽回策に日本空襲

援助各國への政治的身振り

【東京電話】最近ソロモン群島、アリユーシャン、ミツドウエー等太平洋方面における米軍の策動が漸次活潑となり、春の到來とゝもに日本本土空襲の機會を狙ふ等頻日反攻に躍起となつてゐるが米國では太平洋の戰局に關して連續的に重要會議が行はれて注目を惹いてゐる、すなはち去る三月二十八日にはワシントンの反樞軸軍參謀本部は米國軍參謀總長マーシャルの名をもつて太平洋各戰線の指揮官を招致し、太平洋作戰會議を行ひ、ついで四月一日には米國政府は英國大使、濠洲、ニユージーランド各公使を集めて太平洋軍事會議を開催したが、さらに今週中にも太平洋軍事會議を再開する豫定と傳へられるが、米國をしてかくも頻々として太平洋戰局に關する軍事會議を開かしめる要因はなんであるか、米國はこれらの會議を通じて果してなにをたくらんでゐるのであらうか

太平洋作戰會議の狙ひ 頻々たる軍事會議開催についてはその內容の詳細は一切發表されてゐないが、太平洋戰局の現段階ならびに反樞軸陣營における諸般の事情を考へるとき、米國がこれらの會議を通じて企圖するものは大要次の四點に綜合されるものと思はれる

敵の企圖 一、相次ぐ敗戰に低迷する米國が何とか頽勢を挽回し、あはよくば日本本土空襲の機會を得んとすること

二、重慶、濠洲、ニユージーランド等の援助積極化要求に對する政治的身振り

三、日本に對し積極的攻勢に出でんとの印象を與へんとする一種の神經戰的效果

四、カサブランカ會談では歐洲第一作戰が決定されたが、米國が必ずしも英國に利用されず、作戰の主導性は米國にあるとの印象を國民に與へんとする政治的意圖等である、しかしこれを逆の觀點から見る場合、これら軍事會談はその意圖とは反對に今日の米國政府が內外において如何に窮境に立たされてゐるかを端的に暴露するものといへる、すなはち西南太平洋における相繼ぐ敗戰に全く面目を失墜した米國が體面の回復に如何に汲々としてゐるか、またカサブランカ會談で、本年度作戰の重點が歐洲に置かれるとの決定に痛憾した重慶、ニユージーランド、濠洲などの憤懣に米國が如何に板挾みとなつてゐるか、あるひは何事にも主導性をとりたがる米國民が歐洲第一主義の決定に不滿を抱き、米國は獨自の立場をとるべしと嶮しい非難の聲をあげはじめ、大統領改選を明年に控へたるルーズベルトがこれを無視出來なくなつたことなどが明瞭に看取される

カサブランカ會談の矛盾 カサブランカ會談において第二戰線結成が主要議題となり世界戰局の現段階において對日全面的攻勢に出ることは徒に兵力を分散させる結果となり、皇軍の壓倒的優勢は現實的にその實行を不可能としてゐる點から見て歐洲第一作戰の決定されたことには疑ひない、かゝる決定が重慶、濠洲、ニユージーランドなどに如何に大きい衝擊を與へたかは蓋し想像に難くない

重慶の哀訴嘆願 大東亞戰爭開始以後重慶の米國に對する援助要求の態度には一種の恫喝的調子も見られ、熊式輝を首班とする對米軍事使節の引揚げなどはその顯著な例であるが、日本軍の擊滅戰の火蓋が切られるや再び哀訴的な態度と變り、魏道明、胡適などは頻々として米首腦部を訪れ口說き落しにかゝつてゐる、殊に胡適が過般『若し米國が對日攻勢を後廻しにすることによつて重慶政權が弱體化し消極的な同盟國の地位に轉落した場合反樞軸軍は恐るべき不利な立場に陷るだらう』と述べてゐるのは、彼らの苦境を代辯するものである、また三月に入つてからは重慶は外交部長宋子文を米國に派遣、さらに宋美齡のワシントン乘込みとまでなつた、宋美齡の訴米は一般に騷く見られてゐる傾向があるが、女尊男卑の米國で彼女が捲き起した旋風は決して過少評價さるべきではない、米議會やシカゴ、スタデイアムなどにおける演說あるひは記者團への聲明などは米國民の輿論を相當刺戟し、これを機會に米國民の間に重慶援助强化の聲が昂まつて來たことは見逃せない

米國內の素人戰術論 一方米國內でも所謂『安樂椅子』の素人戰術論、政治論が非常に盛んになり各紙とも社說に於て一齊に太平洋反攻作戰と重慶に對する援助問題を取上げてゐる、殊に歐洲戰場第一主義の決定は米國が英國に利用されてゐるとの印象を國民に與へ宜しく太平洋攻勢に出づべしとの聲が高くなつてゐる、さうした諸種の事情に迫はれて米國政府としては出來れば太平洋において大反攻を起しさらに重慶、濠洲、ニユージーランドなどの要求に應じたいのであらうが北はアリユーシャン群島、南はソロモン海域まで鐵壁の陣を布く皇軍の前にはその實現も思ふにまかせず、また陸においてはウエーベルを司令とする英印軍のビルマ奪回企圖も空しく一場の夢と化し、米國の立場こそ全く進退兩難の狀態にあるといへる

敵の狙ふ日本空襲 米國は頻々たる太平洋軍事會議で熱心に對日反攻の作戰を協議したことは注意されねばならない、歐洲第一作戰を決定したとはいふものの、米國としては太平洋作戰に力をいれ虎視眈々反攻の機會を狙つてゐる、最近ソロモン海戰における米軍必死の反攻作戰はこの事實を裏づけるものであるし、さらに支那大陸における米軍飛行基地の强化、本國における空母の大掛りな建造などの事實もすべて好箇の例證であらう、殊に昨年の日本本土空襲の一周年記念日は目前に迫つてをり、あはよくば再度日本を空襲して面目を回復しようとする米國の意圖は明白であつて、われわれとしては太平洋軍事會議ならびに作戰會議の眞意義をはつきりと把握するとともに、米國今後の出方については絕えず警戒を怠つてはならない

空軍增强に狂奔

我猛攻に濠朝野の不安增大

【ブエノスアイレス九日同盟】日本海軍航空隊が西南太平洋において再び大規模な活動を開始したことは濠洲の朝野に異常な不安を與へてをり、バタアン半島失陷一周年を機會に西南太平洋の防備增强の必要が强調されてゐる、すでに過去三ケ月間にわたり濠洲政府は太平洋における現有勢力では日本軍の進擊を阻止出來ないといふに意見一致し再三ワシントンの總司令部に對し兵力の增强を要求してゐたと傳へられる

なかんづく濠海相メーキンはアデレードにおける演說で日本軍が濠洲北部の各島嶼に續々基地を構築してゐると述べ、陸相フオードもまた『日本軍は續々新しい基地を構築しかつ兵力を增强してゐる、その結果反樞軸軍は一層の犧牲を覺悟しなければなるまい、最近西南太平洋における日本軍が非常に有力になつてゐることは否定出來ない』と述べたといはれる

スチムソンが空軍の增强を約束したのは火のつくやうな前線ならびに濠洲政廳からの要請に應ずるためと解されるが、反樞軸司令部ではチユニジヤ戰線において米空軍が一日に千回出擊したとか米國の軍用機數百台が歐洲大陸に對する爆擊に參加したとかいふ米國の新聞電報を基礎に『武器貸與法に基き反樞軸各國に割當てられる機數ならびに各戰線に割當てられる機數を別として米國內には可なりの機關にわたつて建造され、國內に保留されてゐる爆擊機ならびに戰鬪機のプールが一萬台に達してゐる筈で、うち一部を西南太平洋に割くことは容易であらう』とあくまで空軍兵力の增强を期待してゐる模樣だ

日華提携寸隙なし

大東亞戰完遂に誓つて協力

陳特使放送

【東京電話】陳特派大使は十日午後七時二十分中央放送局から『日本の皆さまへ』と題して講演放送を行ひ、日華提携が寸分の隙間もないことを强調するとともに同生共死の立場に徹し物心兩面にわたりすべてを捧げて大東亞戰爭完遂に邁進すべき中國の決意を力强く披瀝した、放送要旨左の如し【寫眞＝陳特派大使】

私が國民政府の命により特派大使として貴國を訪問いたして今夜親しく皆さまにお話をいたすことが出來るのはまことに非常な光榮と存じ、またこの上もなく愉快に感ずる次第である、私が民國二十九年五月貴國へ答禮に參つてから既に三年の月日が經つた、當時もまた和平といふ使命を帶びて貴國へ參つたのであるが、今回は一歩を進めて兩國の合作を實行するために參つたのである、たゞ今、私の光榮であるばかりでなく、かつ私個人にとつてもこの上もなく愉快だと申したのは、これがためである、國民政府は還都以來三年間獻國努力いたした、しかして既に日華兩國の共通なる理想、共通なる抱負、共通なる目的が實現しはじめた

日本が大東亞戰爭を展開されるや中國は日本の後に從つて行くことを實行した、汪主席閣下には一昨年十二月に同甘共苦の聲明を發表せられ、最近さらに同生共死を誓はれた、これによつて日華兩國が眞面目に合作してゐることを證明することが出來、しかもその合作は兩者ぴつたりと一致して寸分の隙間もないと申してもよからうと思ふ、現在又は今後日華兩國には地域上國家の區別はあるがしかし精神上には彼我の區別はないのである

われら日華兩國民は單に朋友といふだけでなく實に兄弟である、今回國民政府が參戰を布告すると同時に貴國も聲明を發せられ、在華專管租界を還附、上海共同租界、厦門共同租界および北京公使館區域の回收を承認し治外法權を撤廢することを約定せられ、その他各種の好意的措置に出られて極力新中國の建設を支援せらるることに決定された、今後日華新關係の發展に呼應して既存の諸條約についてもさらに好意的考慮を加ふべき旨を聲明された、しかも本年國民政府還都三周年記念日に貴國が專管租界の返還を實行せられ厦門共同租界および北京公使館區域の回收に協力せられた、これらの完全なる施策と誠意ある實行は中國國民をして少からず貴國に對する感激と感謝を深めしめたのである

これらの感激や感謝は決して言葉をもつて表現することが出來ぬ、また文章をもつて形容することは出來ない、私がこゝで皆さまに向つて簡單ながら眞心より感激の意を表する次第である

私は重ねて皆さまに申上げるが中國は眞に同生共死の決心を有し、同時に實踐躬行の覺悟を決めてゐる、およそ大東亞戰爭に有利であり、また日華合作の前途に有利であるならば如何なる人力、物力といへどもわれら全部を擧げて貢獻する決意である、中國は力量能力が充分でないけれども、固い決心と强き信念を有してゐる、日華兩國の前途は光明そのものである、大東亞戰爭は必勝不敗である

褚民誼氏來朝

第一回興亞醫學大會出席のため

【福岡電話】來る十七、十八の兩日東京に開催される第一回興亞醫學大會に中華民國分會理事長として出席のため、國民政府外交部長褚民誼氏は南京特別市政府衞生局長褚通鍔氏ほか一名を帶同、十日午後二時十分南京より空路ひよつこり福岡着、同夜は二日市町武藏館に一泊したが、十一日午前七時六分博多驛發東上の豫定で『この度の來朝は外交部長としてではなく、醫學者として來たのだが』と前提しながら左の如く語つた

日華兩國の關係は本年三月九日同生共死の誓約のもとに戰ひ拔くことまでに至つた、これは中國の民衆が、大東亞戰爭の眞大性を認識した結果で、民衆は今次戰爭を『解放の戰ひ』と言つてゐる、この度日本の絕大なる後援によつて斷行された租界の還附、治外法權の撤廢は中國民衆にその意義をさらに深く認識させた、國父孫文先生の遺書の中でももつとも重要なものは不平等條約の撤廢であつた、私は特に租界接收委員長として直接その衝に當つたのであるが、聲明後僅か三月で實行に移され、なんらの支障もなく完了したとは感謝に堪へないと思つてゐる

陳大使首相官邸訪問

【東京電話】陳特派大使は十日午後六時首相官邸を訪問し離京の挨拶をなした

地方長官會議

愈々あす開幕

【東京電話】決戰體制下の國內諸情勢に對處すべき恒例の全國地方長官會議はいよいよ十二日より四日間にわたり東京に開催、大東亞戰爭完遂下喫緊の課題たる戰力の增强ならびに國內體制の整備確立などに關する政府の重要施策を闡示し、これを中心に重點的討議が展開されることゝなつたが、會議招集日前日の十日夕刻までには坂本岡山、本間福岡、加藤宮城など各地方長官をはじめ二十三府縣知事が續々入京し、また台灣では森岡總務局長ほか梁井台北州、藤村新竹州、宮尾台南州各知事が踵を接して上京、十一日午前中には朝鮮總督府の山本忠清南道、金村全羅北道、柳生江原道、瀨戸咸鏡南道の四知事が打揃つて入京するほか同日中には招集に應じ全長官が入京する、かくて會議は十二日午前八時半首相官邸における東條首相の訓示をもつて開始され十五日まで四日間にわたり眞劍活潑なる討議が行はれることゝなつた

全國經濟部長會議

日程決る

【東京電話】內務省では去る八十一議會を通過成立せる諸法律ならびに戰時政府の重點施策を地方に徹底せしむるため地方長官會議に引つゞいて來る廿一日より三日間全國經濟部長會議を開くことゝなり十日次の如く日程を決定した

會議第一日の廿一日は午前八時半農相官邸に開會、井野農相の訓示ののち指示に入り、農業團體法施行に關する件、水產團體法施行に關する件、食糧對策及び農產物增產ならびに皇國農村確立などに關し指示がある

廿二日は正午農相官邸における農林省關係會議を終つて一旦休憩、午後一時半商工省關係會議を開き岸商相の訓示ののち指示に入り商工經濟會法施行に關する件、商工組合法施行に關する件、交易營團法施行に關する件及び金融回收に關し指示がある

最終日の廿三日は午前八時半より大藏、厚生兩省および企畫院右關係會議を順次開催して正午一旦休憩、午後一時半再開、遞信省、內務省各關係會議が開かれるが、厚生省關係會議では勤勞局ならびに軍事保護院關係の指示、遞信省關係會議では木造船計畫建造に關し指示があり內務省では生產力增强その他時局事務に關する指示が行はれる

厚生省、優遇令を適用

【東京電話】厚生省では官廳職員優遇令に基き衞生局防疫課長南崎雄七氏外三氏を高等官二等に昇進せしめる旨十日左の通り發表した

衞生局防疫課長 南崎雄七
大阪衞生試驗所長 石尾正文
國立癩療養所栗生樂泉園長 古見嘉一
陞敍高等官二等（各通）
厚生技師 田村剛
厚生省研究所技師 加藤正吉
同 武田晴爾
勅任官を以て待遇せらる（各通）

內務省辭令（十日）

樺太廳警察部長 栗山松一
任樺太廳書記官（五）補敷香支廳長
島根縣警察部長 大實元
任樺太廳警察部長（四）
三重縣官房長 米澤常道
任島根縣警察部長（四）
警視廳警視（特高第二課長） 秋山博
任三重縣官房長（四）
地方事務官（栃木） 江花靜
任秋田縣官房長（四）
秋田縣官房長 井上淸一
任內閣情報局情報官（四）

情報局辭令（十日）

秋田縣官房長 井上淸一
任情報局情報官（四）
情報局情報官 金井元彥
情報局第四部第一課長兼務を命ず

【社説】陸に海に相次ぐ凱歌

印緬國境に擧つた聯戰に次いで、南ソロモン水域に又しても赫々の戰果が擧つた。九日大本營發表のフロリダ島沖海戰がそれである。正に陸に海に、北に南に、戰果の連續である。本海戰に於いて我が海鷲は例によつて、放膽、果敢なる强襲を敵艦船に加へたのであるが、その戰果は實に巡洋艦一隻、驅逐艦一隻、輸送船十隻、擊墜飛行機卅七といふ最近珍しき大獲物を得たのである。

見敵必殺、求敵必滅の我海鷲傳統の精神と作戰の妙がこゝにも遺憾なく發揮された、我々は海軍將兵のいつもながらの勇戰奮鬪に一層の敬意と謝意を表せずにはゐられない。

本海戰の特徴と見らるべきものは十隻の輸送船を擊沈し、三隻のそれを大小破させてゐることであらう。即ちガダルカナル島を中心とする敵の戰備は我が轉進作戰以後も着々として進められ、兵員機材の充實に汲々たりし有樣が明かに看取されるのであるが、我が海鷲の勇敢なる强襲によつて、敵の反攻企圖は又もや空しく挫折し終つたわけであつて、痛快この上もなきことである。

然し本海戰に於いても我が尊き犧牲、自爆六機を出したことを忘れてはならぬ。又敵の反攻企圖は勿論今後も執拗に繰返されることであらう。我々はこの南溟の空に悠々自爆し去つた勇士の心を心として、敵の反攻を飽くまで破摧すべく、戰力增强に擧らねばならぬ。

金山整備に協力せよ

金鑛業の整備方針が愈々決定その要旨が九日發表された。勿論內鮮とも同一方針であるが、黃金鄉を以つて呼稱された半島としてはその影響が極めて大きいことに注意せねばならぬ。

まづ第一に注意すべきことは今回の金鑛業整備の理由が金の價値そのものを否定せんとする根據に立つものでなくて、國際貸借決濟樣式の轉換によつて金の價値に一つの限度が生じ、その限度以上に金以外の銅鐵その他重要戰爭鑛物の價値が大きくクローズアップされたところに金山整理の必然的理由が發生したといふことである。

即ち大藏省が今後も金の買上制度を存續し、產金獎勵金の支給方針にも變更を加へざる意向であることは國內消費並に將來に於ける共榮圈外との決濟手段としての金の用途を考慮してゐる結果に外ならぬ。たゞ少くも、戰爭完遂までの期間に於いて金の國際通貨としての價値がある程度減殺されることは當然のことで、その意味からして金を積極的に生產することも當然に控へられねばならぬ。今回の整備方針の中に『銅の乾式製鍊上絕對に必要なる最少限度の硅酸鑛を確保するための金山と銅、鉛、亞鉛その他特殊鑛物を相當量附隨產出する金山についてのみ今後の稼業を認める』とあるのは明確にそのことを指すものであらう。從つてこの金鑛整備を以つて、金の價値否定、從つて產金政策の放棄乃至計畫の縮止と考へることは聊か妥當を缺くものがある。

然し金鑛山の一部休廢止はあくまで犧牲は犧牲であつて、そこに重い犧牲を受くべき業者にとつては確かに死活問題であるに違ひない。この點當局のこれに對する補償が絕對に公平、至當であることが望ましいのであつて、我我もまたこの尊き犧牲として意義あらしめるやう當局の慎重なる手加減を希望して已まない。又休廢業を餘儀なくせしめられる金山に於ける資金、資材、勞力はこの際可及的迅速に且合理的に他の重要鑛業乃至產業に振り向けられねばならぬが、この轉換活用こそ今回の整備の核心をなすものである。現實に即せる當局の轉用方針がそこに誤りなく實行に移されねばならぬことは勿論であるが、なほそこに强く要請せられるものは業者の思ひ切りのよい協力態度である。

事既に茲に至つて、我々はこの國策の大轉換に對し遲疑逡巡せる業者の一人もないことを信ずるものであるが、戰ひ勝つことの要諦が一にも二にも戰力の增强にありとすれば、潔く散る櫻花の心境を以つて、この國策の轉換に積極的協力を惜まないだけの決意を致すべきである。

帝宮に參進する周國府特派大使(十日新京)=電送

滿洲國皇帝陛下 周特派大使を接見

【新京十日發同盟】入京第二日の十日周佛海特派大使は帝宮に參進し、この日同大使は燦然たる勳章に威儀を正し隨員を從へ下村接伴員誘導のもとに宮內府差廻しの自動車にて、午前十一時十五分宿舍迎賓館出發同十一時卅分帝宮に參入した、皇帝陛下には陸軍御正裝に最高勳章を御佩用、熙宮內府大臣以下側近者を從へさせられ同十一時四十分東賓殿に出御、同特派大使は恭しく御前に參進、謹んで來滿の御挨拶を言上、皇帝陛下には同大使に親しく御握手を賜りついで楊隨員氏以下隨員に列立謁見を賜つた、ついで豫樂殿において一同に對し午餐を賜つたが、席上官四十餘名も陪席申上げた、席上皇帝陛下には新中國再建に挺身する周佛海特派大使などの勞を厚く犒はせられ種々御鄭重なる御言葉を賜つたと漏れ承る、かくて一同は御殊遇に感激しつゝ帝宮を退下宿舍迎賓館に入つた

特使、張總理訪問

【新京十日同盟】周佛海特派大使は十日午後二時十分國務院に張國務總理ならびに武部總務長官、古海總務廳次長を訪問約二十分間にわたり中國參戰の決意と大東亞戰爭遂行に關する滿華兩國の協力方策につき懇談を遂げた

生鮮食料品の物價 闇取引の禁遏を考慮

現在當面してゐる朝鮮の物價問題は生鮮食料品に關する對策の樹立にあり、右はかなり切迫した問題であるに鑑み、先般本府は物價委員を四班に分ち湖南、南鮮、北鮮及び西鮮に派遣し各地の實地調査を行ひ、その報告を土台にして、且つまた先般決定した內地の改訂生鮮食料品物價對策と睨み合はせた上、獨自の對策を練り可及的速かに適正價格を設定し、生鮮食料品を廻る闇價格の禁遏に乘り出すことゝなつた模樣である、この對策樹立に際して蔬菜に就いては(一)部邑を中核とした自給圈の確立(二)過剩生產物の貯藏機構を作ること(三)價格操作に新機軸を作ること(四)中央卸賣市場の改革等が必然論議さるゝことゝならうし、また水產物に就いては(一)增產の方策(二)半島水產物に對する內地の吸收防止等に重點が置かれることになる模樣である、而して蔬菜は諸般の理由から鮮內產は一途に減產を辿りつゝあり、また從來相當量は內地依存にあつたので、これまた昨今の輸送力節減に因り內地からの移入は著しく困難な狀況にあるかゝる二大原因による供給の激減は必然蔬菜價格の騰貴を誘發するけれど、現に實際に副はぬ公定價格が頭を抑へてゐるとすれば、勢ひ非合法の經路に流れてしまふのは如何とも爲し難いのである、かくてこゝに適正なる價格により需給の調整を圖るべく遠からず妥當なる措置が講ぜられることゝなつたのである

課題の一つたる自給圈の確立は從來兎角無關心に附した事柄であり、從つて確固たる計畫も持たれてゐなかつた問題である、然るに最近蔬菜の需給關係が頓に逼迫の傾向を現出するに至り、初めて官民關係者の注意を喚起し、蔬菜價格對策の要決として取り上げられることになつたものである、大體都市の蔬菜消費は一人一日卅匁が最も理想であるといはれてゐるから、これを目標とし、例へば京城に於いては京畿道農村を圈內に包含し、其處から供給を受けるが、なほ不足するものは野菜栽培も獎勵されることゝならう、次に過剩生產物の貯藏と云ふ點から見て、家庭の休閑地利用によるのも至大の問題である、これは來るべき冬季を考へると適當なる方策を必要とする事柄である、第三の價格操作については第一に價格形成に關する道知事の權限を擴大するのが一方法である、これにより出廻り狀況を絕えず監視し所轄道當局が緊急の措置を講ずるのである

次に或程度の價格引上げは免れぬかも知れないであらう、即ち包裝材料をはじめ生產原價が上昇しかつ運賃も含めねばならぬ以上、自然適正價格を設定するには引上げを必定としてゐるからである、最後に中央卸賣市場の機構改革は生鮮食料品の需給調整を行ふに際し、不可避であらう、仲買人のせり賣り制の廢止まで發展する性質を有してゐるが、當局はこれを如何に處理するかは注目に價する、大體現在蔬菜の價格は闇相場が公定價格の三倍乃至四倍見當であり、また合法的經路より流れるものが出廻りの十分の一程度といふ豫想であるから、これに對する拔本塞源的對策は全く焦眉の急を告げてゐる

水產物は蔬菜に比べ一層解決が至難視されてゐる、即ち第一に生產は重要なる資材の入手が全く窮屈となつてをり、のみならず水產物中或る部分は生產擴充の方面にふりむけねばならぬ實情から推して、食料問題は益益困難の度を增すであらうが、併し放任するわけにゆかぬ限り必要以上に內地へ流れるのを防止するとか或は闇取引物々交換等を徹底的に防遏する手段を考へるのでないかとみられてゐる

緊急鑛物の增產 商工、大藏兩當局談

【東京電話】金鑛業の整備に關し商工・大藏兩省は九日左の共同當局談を發表した

一、金に關してはその國際貸借決濟手段としての重要性に鑑み支那事變勃發以來これが增產獎勵のため、あらゆる施策を講じたのであるが業界においてもその使命の重大性を認識して專念增產に邁進しよくその重責を全ふし來つたことは誠に感謝に堪へざる次第である

二、しかるにわが國經濟は今や全く對外依存を脫却せる結果國際貸借再手段たる金の需要量にはおのずから一定の限度が與へらるゝに到つた、同時に他面戰局の進展に伴ひ銅、鉛、亞鉛、水銀、滿俺など重要鑛物の增產はいよいよ緊要の度を加ふるに至つたので本邦金山にして銅、その他金以外の鑛物の生產に關係なきものはこれを廢休止せしめよつて生ずべき資材、勞力などを銅その他の重要鑛物、鐵山へ轉移、活用しその生產增强に資することゝした次第である、なほ今後においても國內消費用として相當量の金を要するの外將來における共榮圈諸國との決濟手段としての金の效用についても十分に考慮する必要があるので今日休廢止せざる金山については依然として生產增額を期待する方針である

三、これら休廢止鑛山に對しては國庫の負擔において補償を行ふこととし帝國鑛業開發株式會社において政府の命令に基き當該金山の鑛區、土地、建物、設備などの鑛業用資產を引き取りこれを基礎として補償をなすと共に金融勞務などに關する問題についても遺憾なき措置を講ずる方針である

四、今回の金鑛業の整備は直接軍需用資材たる鐵、銅、鉛、亞鉛、水銀、滿俺などの增產のため止むを得ず金山を整理しこれによつて生ずべき資材、勞力などを鐵、銅その他の鑛山などに轉換活用せんとする趣旨に外ならぬものであるので、かゝる金山から生ずる餘剩資材、餘剩勞力などは何れも政府の指圖する所に從ひ緊急方面へ有効に轉移活用せられんことを期待してゐる次第である

五、金鑛業者およびその從業員のみならず國民全般が今回の金鑛業整備の主旨を深く理解せられ政府の施策に協力せられんことを希望してやまない

金鑛業整備の勞務對策

【東京電話】金鑛業の整備に關しては去る三月八日厚生、內務、商工の三省より各地方長官並に鑛山監督局長宛通牒が發せられたが、厚生省では右にともなふ從業者の配置轉換に關する基本方針を左の如く決定、九日發表した

【厚生省發表】

一、轉換先に於ける住宅については事業主に於いて速かに準備せしめることとしたが、未完成のところは取敢へず單身移動せしめ必要によりては旅館、寺院、民家を一時的に開放して貰ふことにした

一、給與については次の方針によることにした、從業者に對し法令の定むる手當のほか特別に手當を支給せしめること、轉業の休廢以前休業を餘儀なくせられたるものに對しては健康保險標準日額の六割以上の休業手當を支給せしめること、また整理鑛山の將來の負擔となるべき扶助についても將來の經路を豫算し一時金を支給せしむるなど、出來るだけの處置をなさしめることにした、また賃金統制令の適用については新なる雇入と看做さない、從つて最高支給賃金の適用なく、同一企業に轉換する場合は一應最高支給賃金の適用除外の許可申請をなし得ることにした

一、應召入營中の從業者の取扱については家族または本人の希望に應じ轉換先鑛山を選定せしめ、かつ轉換先鑛山に於いては現に支給せられてゐると同樣の應召手當を支給して貰ふことにしたその他應召入營中の家族に對し生活の不安なからしむるやう必要なる處遇をなさしむる

一、本整理に伴ひその業を失ふ鑛山街の商業者に對しては從來の中小商工業者の整理統合の場合に於ける方針にしたがひ轉業の措置を講ずる

一、最近小石炭山の整理をすることになつたが、右による離職從業者は極めて少數であるがこれが取扱ひは金鑛山整理の場合と同樣である

半島製糸業の整備 ―內地の運營を見守り善處―

內地に於ける劃期的製糸業整備問題は幾多の紆餘曲折を重ねつゝも廿日の日本蠶糸統制株式會社(資本金一億圓半額拂込)の創立總會開催を以て愈々大團圓を告げることゝなつたが、これが關係を見極めたうへ本格的整備に着手せんとしてゐる半島の製糸業整備問題も內鮮を通ずる纖維需給關係及び價格引上げと增產氣勢の昂揚等その後の情勢轉換と今暫く內地新機構の運營狀態を見守つたうへで善處すべしとの意見有力でこゝ當分は現狀のまゝ推移することとなる模樣である

六地區契約成る 農地營團で工事着手

食糧增產への重大役割を荷負つて一月力强く發足した朝鮮農地開發營團の十七年度開發九地區四萬五千二百五十九町步は去月末日附を以て正式工事認可があつたので營團では直ちに特命工事として請負人を指定、折衝中であるが、既に東面(慶南)金烏山(慶北)窟坪(京畿)安信(黃海)新高山(咸北)醴山(慶北)の六地區は契約成り工事着手の運びとなつた、殘餘の三地區についても近日中には工事契約完了の豫定である。

十八年度開發 地區も指定

なほ十八年度開發地區も卅一日附で次の九地區四萬四千九百四十四町步が指定されたがこのうち韓山苑代兩地區は既に營團で設計を完了、東津、全北兩地區も本府、道水利組合において設計濟みで殘餘に對しては近く係員出張、測量に着手することゝなつた、これによつて營團開發面積は九萬一百三町步に達するわけである

▲全北(完州郡雨田面外廿四面)二六、四二一町步▲東津(全北井邑郡新泰仁面外十八面)一〇、六五〇町步▲綾州(全南和順郡綾州面外)七一〇町步▲咸東(全南咸平郡由面外六)一、五三〇町步▲苑代(黃海道碧城郡代車面外二)二、〇五〇町步▲桃花(咸北吉州郡長白面外)五二〇町步▲朱南(咸北鏡城郡朱南面)一、〇五〇町步▲旺松(京畿道水原郡日旺面外)四八〇町步▲韓山(忠南舒川郡韓山面外)一、五三三町步

預金部融通額 第一回分決定

昭和十八年度第一回の朝鮮に關する大藏省預金部低利資金はさきに預金部資金運用委員會で本極りとなり、九日財務局に對し融通額の通知があつたが、十八年度第一回分の低利資金融通額合計は住宅營團の債券引受けの形式による融通をも加へて七千八百八十八萬圓で前年より一千三百十六萬圓の增加を示してゐる、融通費目別內譯は次の通りで、地方普通資金の百五十萬圓增を初めとし、各項目にわたり全面的增加を見るに至つたが、なかんづく增米計畫の實施に伴ふ土地改良資金、肥料資金の增加が著しく增加額の大半を示してゐる、すなはち低利資金融通費別內譯は次の通り(單位萬圓)

	本年融通額	前年比增
普通地方資金	二〇〇	一五〇
治水事業資金	三〇〇	三〇〇
土地改良資金	一、〇三八	四三六
中小商工業資金	一〇〇	一〇〇
勞務者住宅資金	一〇〇	一〇〇
住宅營團融通資金	三、〇〇〇	[illegible]
合計	七、八八八	一、三一六

朝鮮製麵組合聯合會開催

全鮮製麵工業組合を打つて一丸とする朝鮮製麵組合聯合會は九日午後二時府內金千代會館で創立總會を開催、本府より物價調整課員及び各道組合代表者四十餘名出席し定款、十八年度收支豫算を決定し、理事長に岩本德太郎氏(朝鮮製粉社長)常務理事に完山末吉氏を選出して同四時散會した、なほ事務所は京城製麵工業組合內に設けた

不安全畓の指導に萬全

朝鮮水利組合聯合會は農地開發營團の設立と共に事業並に陣容の大半をこれに引繼いだが、小規模水利事業は依然、各地水利組合を指導監督して不安全畓の安全化へ全力を注いでをり今回忠南舒山水組蒙利地域四千八百町步をはじめ全南郡西、京畿道驪州、咸南、同三平、咸北

半島產の苹果 本年から無袋栽培

果實類を侵蝕する害蟲の防除對策として我國では古くより新聞紙袋を使用してゐたが、最近の新聞用紙不足により、必要數量の新聞紙獲得が極めて困難となつたので本年度から鮮產苹果の栽培に無袋栽培法を斷行すべく、かねて本府農林局より地方の專門技術者へ無袋栽培實行上の資料乃至研究資料作成方を依賴してゐたところ、このほど大體完成をみたので右資料研究資料を各自持ち寄り、十七日午前九時から本府第二會議室において農林局主催のもとに苹果無袋栽培實施に關する協議會を開催することに決定

右協議會には斯界の權威者北海道帝大教授島善鄰博士も臨席する、なほ此の無袋栽培を全鮮的に實行すれば袋止金代、人夫賃などを合せて約六百萬圓の節約が出來るのみでなく、時局下勞力、資材の合理的節約ともなりさらに餘剩勞力を重要產業へ振り向ける一石二鳥の名案とされてゐる

本社寄託獻金

恤兵金 ―十日扱―

【陸軍】百圓京城府旭町二丁目六一藤山鐵三▲五十圓京城府資金町花月食堂女給一同▲十四圓四十錢咸南文川郡北城國民學校【海軍】百圓京城府旭町二丁目六一藤山鐵三

累計【國防獻金】八十八萬千八百八十二圓七十八錢【恤兵金】二十三萬三千八百十五圓五十八錢

總合計百十一萬五千六百九十八圓三十六錢

入所日記【下】

陸軍兵特別志願者訓練所 張赫宙

私の當番の生徒が二人來る。自分では一人の訓練生のつもりだが訓練所では教官待遇である。當番の一人は、私の希望で、東京の相愛學院出身者にしてもらふ。私の床をとつたり、洋服をたたんだり、ハンカチを洗つたり、洗面の手傳ひまでしてくれる。清潔で、整頓正しく、靜かである。これはもう滿點である。非の打ちどころがない。體操、銃劍術のとき氣魄が足りないと思つたが、間もなく滿足する場面に逢着する。點呼である。班長のきびきびした報告と號令にはツと驚く。一、二、三……と、まるで機關銃の射擊である。大きい、强い聲が彈丸のやうに、はやく規則正しくとび出す。十一區隊全部を巡察する間、私は全く自分を忘れてゐる。廊下に集合。奉詞奉唱。生徒監の訓辭。故鄉へ向つて默禱。じんと胸にしみる。淚がにじむ。入寢。

私のベッドは棺桶のやうに狹い。毛布を持ち上げないで、すつぽりはひれと言ふ。苦心してはひつたが、ミイラになつた氣がする。一と晚中寢返りをうつ癖のある私は實に苦しい。窮屈に寢返へないので、腳絆も狹苦しい。夢も見ないで眠る。

そつと起きて、隣に寢てゐる片瀨教官の眼を覺さないやうにと、拔足差足で步く。扉をあけて、そつと廊下に出る。はつとする。黑い影が私に擧手の禮をしたのである。君は?――と、訊問しようと思つたが默つてしまふ。彼こそ不寢番である。

私は泣けてくる。このしんと靜まつた中を、彼は默々と任務についてゐるのである。忍苦、持久、責任感。彼はもう立派な軍人になつたやうに見える。完成された軍人こそ立派な人間だといふことが、はつきりわかる。

もうなかなか寢つかれない。うとうとしたり、はつとしたりしてゐる中に、起床、の聲で、はね起きる。顏を洗ふ。朝禮に出る。嚴肅である。

かうして第二日目が始まつたが、戰鬪になると眠くて仕方がないのである。が、私は頑張る。(就寢もないし第二、第三日迄も大同小異であるからはぶく)

隨想錄

"上に立つ者は三分の隙を持つて、その隙へ部下が飛込めるやうにしてやらねばならぬ"といふ小說家の言は、名鑑の音に似た冴えを持つ▲舞台の名優も、決して一人で芝居はしない。觀客の喝采をさらつて了ふ如くに見えて、他の俳優にもそれだけの役を充分に演じさせる。鐘が、鐘だけでは鳴らぬ仕組もそこにあるのだ▲上の者が三分の隙を見せることによつて、人間味も溢れるし、下僚に理想を持たせ、將來への夢を抱かせることも出來る。即ち"うちの親父は若い者の意見をよく聞いてくれる"となれば、聞いて貰ふべき名案を練てる▲三分の隙から入つても、いくつかの名案は、頭に一杯溜らぬとは限らぬ。それを選擇して行へば、仕事の成績はあがり、下僚は一層の張合ひを持つ。協力結集とか、融親和とかはこれによつて實現するのだ▲なんにも持たないものが、持つたやうな顏をするために固く門戶を閉し、苦虫をかみつぶして居ると、下僚はとりつく島がない。この種の大名を封建時代には『暗君』と稱した▲役人でいふなら、部長、課長級は、十のものを十乃至十二に働かせるため、寸分の隙なくはちきれる感じがあつていゝが、知事級になると、もう三分の隙を持つ必要が起る▲政黨華やかな時代に、この要領を心得てゐた人は、黨魁にもなれば大臣にもなつた。犬養毅が忍從の道を步いたのは、三分の隙を見せる術を得意としなかつたからだ▲若槻禮次郎の頭の冴えをいふ人はあるが、大政黨をあの通りにしたのをみれば、成程と思ひ當るところがあらう。人の上に立つこともまた難いかな。

不連續線 その根性

公定價で手に入らぬとなれば、少し位餘計に金を出しても、何とかしたいといふ根性があるからこそ、闇が生れるのである。

物を手に入れるために、金を多く出したい人間は、重慶へ行くがよい。鷄卵が一個九十錢、石鹸が一つ十五圓六十錢、萬年筆でさへ、一本千圓といふのだから、闇の好きな人間は、その上幾らでも出せばよい。

勝つ國と負ける國との差は、物と値段と、それを吊り上げる國民の根性から競はれる。

フィルム短縮 ニュースは週間制

今回の生フィルム削減に伴つて劇映畫が從來の九千呎から七千八百呎に文化映畫は千呎に短縮するに對しニュース映畫も每號呎數を約二百呎減じて八百呎を限度に製作することとなつたなほフィルム減配に絡みニュース映畫は週間制から旬間制に決定してゐたが、新配給方針に適應させるため從前通り週間替りで製作され劇映畫封切後次週の入替り續映の際でもニュース映畫だけは新號を上映するわけである

映畫ニュース

☆『望樓の決死隊』は七日間 廿九日から十日間全館同時に封切る豫定だつた東寶作品『望樓の決死隊』上映期間は七日間に限定、從つて後續作品の封切は三日間繰上げられる

歌壇

金剛の山峽にゐし命鮮寂然としてなほ名を生く　新義州 大平 興里

ひろごりてゆく砂の面の雨のいろはるかに遠き思ひ出の湧く　京城 宗片 規矩

春されば水照りまぶしき川の瀬を朝なあさなに務めに通ふ　同 渡邊 默雄

息のみて心靜されぬすさまじき大發電機のうなりを聽けば　同 河合 岑峙

【雜詠】四月廿日(火)締切

日露役の勇士も參加
傷痍軍人遺族の錬成

聖戰の傷痍勇士や今次大戰の遺族を交へての錬成會を京城軍人援護會主催の下に午後一時から京城青葉町修養團禊道場で開いた、二日間の神格錬成に不自由な身を杖に頼らせて參加した老勇士愛息を捧げて今日ぞ倅に代つてみつちり身を鍛へようとするその父など、いづれも白衣隊の錬成者に身を潔めて道場に集合先づ心の饌祭から開始した、開會に先立つて千田總務部長挨拶を行ひ、續いて二日間の錬成指導並に講演者中山貞雄氏の挨拶があつて會員十七名は一齊に皇民行の『天岩戸開き』から錬成を行つた、渡中講師の號令下、童心、禊はらひ、神拜等皇民行は勇士、遺族の姿を一層神々しいものにした【寫眞＝傷痍軍人及び遺族の錬成會】

この汗、三百石增收
戰ふ學徒に本府の親心も萬端
增産援護部隊の先陣

聖鍬待つ水原へ

戰ふ半島學徒の戰時食糧增産出動の先陣を承つて『大學專門學校學生々徒隊』は十三日からの豫定計畫を一日繰あげて愈々十二日午前五時四十五分京城驛發列車で城大第一班二百六十四名が水原に向けて出發、同地で水原高農隊と合流し直ちに水原農事試驗場貯水池西湖の浚渫工事に聖汗第一鍬をうち揃ひこゝに聖戰完遂へ起ちあがる半島學隊の意氣を蒼穹高く誇揚する、歴史的なこの壯擧に對して總督府學務局では萬全の態勢を打ちたてるため食糧、衛生藥材、作業道具などをトラックに滿載、十日すでに係官が現地に向ふなど當局が、聖職に挺身する若き學徒に贈る親心も溢れてゐる、かくて學徒の戰時食糧增産作業は城大第一班、高農合同作業班からなる第一陣の十二日から十八日までを皮切りに左の割當日程で各校一週間づゝ、六月廿七日まで續行する、その間延人員は約四萬名にのぼり、合宿勤勞作業のかたはら行や修養講話などの精神訓練も展開する、なほ汗の浚渫工事が終ると貯水量廿二町歩が增加、その增水量の灌用水は毎年約三百六十六石增收への豫き實を結ぶのだ

▲城大一班、高農（四月十二日—十八日）▲城大二班、豫科（四月十九日—廿二日）▲京醫、醫專班（五月三日—九日）▲法專、高工一班（四月廿六日—五月二日）▲城大三班、高商班（五月十日—十六日）▲旭醫、齒專班（五月廿四日—卅日）▲延專、明倫專班（五月卅一日—六月六日）▲惠專、藥專班（六月七日—十三日）▲高工二班、京師班（六月十四日—廿日）普專班（六月廿一日—廿七日）

必ず專用列車で
靖國神社大祭の上京遺族へ注意

【東京電話】靖國神社臨時大祭は來る二十二日の招魂式に引つゞき廿三日から六日間執り行はれるが大祭に際し全國各地より上京する遺族および一般に次の諸點を守るやう十日大祭委員長より注意を發表した

一、遺族專用列車を仕立てるので上京遺族は市町村長の世話により必ず遺族專用列車に乘車せられたい、座席は全部用意してあるから一般列車に混乘せぬことなほ遺族列車には大祭委員が途中まで出迎へて遺族の世話をする

一、遺族專用列車は大體において遺族の居住地を基準とし一府縣又は數府縣を一列車に配當してあるのでその區域通過の際には努めて各驛に停車するやう考慮してあるが、最寄驛に停車せざる場合、又は專用列車運轉區間外附近の者は停車驛まで先行して乘車されたい

一、列車の指定を受けない東京附近その他の者も市區村長の世話により當該の列車で上京されたい、なほ大祭受附出頭の日時は嚴守のこと

一、上京途中の辨當などの入手は時節柄困難であるから所要に應じ手辨當を携行されたい

一、今回上京する遺族は東京市全旅館の協力で、目下鋭意配宿を努力中であるので、一般上京者はこの情勢を認識して遺族配宿の障害となることやあるひは窮屈な思ひをなさしめないやう進んで協力し、この期間の不急の上京は見合せて貰ひたい

大和魂と渾然
烈々說く時代と儒道
安岡氏講演會

小磯總督の懇請により去る五日來城したわが國儒學の權威、安岡正篤氏は六日から總督府で開かれた本年度定例道知事會議において決戰下の吏道について講演、引續いて十日午後四時から府民館中講堂で朝鮮儒道聯合會主催の講演會に臨み『時代と儒道』と題して聽衆の胸を搏つた、會場には朝鮮儒道聯合會長朴澤相駿氏、同副會長林茂樹氏、總督府大野學務局長をはじめ教育關係者、儒道聯合會員ら約四百名が參集、國民儀禮のゝち朴澤會長の挨拶があつて安岡氏は從來儒教といふものが儒教者のみの儒教として一部の儒學者にゆだねられ、その存在は全く骨董的なものに過ぎなかつたのである、この儒教が頑固で形式的な考證の域に萎縮したゝめその時代思想は西歐思想に風靡されてゐたが今やこの決戰下において眞の儒教は愈々新しい生命を發揮せねばならぬ秋が到來したのだ、仁義道徳に徹するのが儒道の本義でこれを人に感化し與へるのが儒教であり、更にこれにもとづいた學問が儒學である

その目的は高邁な理想と情熱と確信的な行動性を有するところにあつて日本の建武の中興、明治維新に活躍した志士の烈々たる大和魂を作り上げたものはこの儒教であつた、儒教こそ日本精神と渾然一致するものであり、大東亞戰下に時代的生命を發揮せねばならないと、時代と儒教の本義を約二時間に亘つて說き聽講者に多大の感銘を與へて同六時終了した【寫眞＝講演する安岡氏】

李英介氏『徴兵制』に獅子吼

【東京電話】半島出身で東京在住の李英介氏は赤尾敏氏の主宰する大日本皇道會に入り同會東京支部長となつたが十日夜本所區兩國公會堂で開催の皇道會講演會に於いて『必勝態勢確立と朝鮮の徴兵制度』と題する演說を行つた

自己相應を選べ
半島人の内地進學
川岸奬學會理事長の談

朝鮮總督府と奬學會豫算に關する事務打合せのため九日入城した川岸朝鮮奬學會理事長は十日朝鮮ホテルで記者團と會見、東京における半島學生の緊縮、内地進學者に對する要望、朝鮮奬學會の趣旨などにつき次の如く語つた

最近半島青年の内地進學者は激增の一途を辿りその燃える向學心は結構なことであるが、漫然たる内地進學は特に戰時下においては考慮すべき問題である、半島人も同じ日本人であるのだから内地の官公私立學校のいづれを問はず、内鮮區別なく實力のあるものは喜んで入學させ、よくその指導錬成を施してゐるが、なかにはまだ名譽、虛榮的な氣分で自分の實力に相應しくもない高程度の學校を志願し遂に入學も出來ず、遊興方面に足を踏み入れるものを見受けられることは甚だ遺憾だ、希望學校の選擇については豫め自己相應の學校を選ぶべきだ、内地の專門、大學で半島人の入學を閉鎖するといふ根も葉もない流言を聞かされるのであるがこれは誠に慨むべき流言で實力さへあればどこでも立派な學校へ進むことが出來る、渡航後不幸にも不合格の場合は直ちに歸鮮して翌年の受驗準備に勤むとか適當な職を求めて御奉公することを希望する、現在在京半島人學生の思想上に於ける動向は一部を除いては全般的に眞の皇民に徹してゐる、半島學生の錬成會を東京の數ケ所の道場で開いてゐるが中には父の死を際に秘して錬成を怠らないものも出て來て責任者を感動させてゐるほど何れも精勤してゐる、今後は思想、趣味、協調親和的な半島男女の内地進學を希望して止まないのである【寫眞＝語る川岸理事長】

賑ふ聖地の春
奉仕團體續々扶餘へ

内鮮一體の聖地扶餘神宮御造營は半島二千四百萬赤子の熱誠を盛つて今年も勤勞奉仕が行はれるが、そのトップを切つて十四日京畿道坡州郡聯盟五十名が奉仕する、なほ京畿道からの奉仕團體の日程は次の通り

十四日坡州郡聯盟▲十五日京城女實、淑明高女▲十七日梨花高女▲十八日普成中學▲十九日淑明高女、廣州郡愛國班代表▲廿日水原高女▲廿二日安城郡聯盟▲廿三日京城商業▲廿四日京畿商業、楊平郡聯盟▲廿五日養正中學▲廿六日淑明淑女會▲廿七日龍山中學、仁川府愛國班代表▲廿八日仁川高女▲卅日進明高女▲五月一日城南中學、開城中學▲三日普成商業▲四日京城第二高女▲五日安城農業▲六日京城第二高女▲七日輔仁商業▲八日京畿高女▲十日東仁中學▲十一日京城第一高女、開城商業

川岸奬學會理事長
歸鮮設生懇談會

入城中の朝鮮奬學會理事長川岸中將は十一日午後一時から總督府高等官食堂に同奬學會の温い手によつて育まれいまは歸鄕それぞれの職場に黙々と精魂を傾けてゐる在城の半島青年多數を招集、“連絡懇談會”を開き腹藏なき意見の交換を行ふことになつたが在城者は奮つて出席するやう希望してゐる

伊東致昊氏夫人

志願兵後援會長伊東致昊氏梅麗夫人は宿痾腎臟病で十日午後三時廿分京城堅志町六八自宅で永眠した享年五十四、告別式は十三日午後五時から自宅で執行

聖汗する松本大佐
佛像毀しに半日獻納

松本大佐の手に血が流れる、メンソレタムをつけ、また槌を握つて寢かせた佛像を力一杯打つガチャン、木端微塵だ、破片は左へ右へと飛び散る、今度は額にあたつた、傷は淺いぞ、また槌を振る、十日の土曜で事務を正午まで打ち切り『獻納された尊い佛像は自分の手で毀さう』と松本武官は上衣をぬいで庭に降り立ち武官府全職員も槌を握つて佛像毀しの聖汗奉仕だ、婦人職員達はリレー式で佛像を庭へ持ち運び男子職員は打ちこはす『眼鏡がこはれるぞ氣を附けろ』思ひやり深い松本武官の注意の言葉だ、五時まで勤勞奉仕はつゞいたが、松本大佐の胸には海濤萬里の太平洋で米英擊滅のため敢闘する戰友たちの勇姿がちらつくだらう【寫眞＝聖汗奉仕する松本大佐】

客船顛覆

【長崎電話】長崎縣北松浦郡鷹島村中通二四〇木下教太郎所有客船殿浦丸（十トン）は定員の三倍に上る乘客百餘名を滿載し、九日午前七時五十分殿浦港より三里港へ向け航行中、三里港の沖合一浬の海上において機關に故障を生じて顛覆し、死者多數を出し現在までに死體の收容されたものは數十名他は行方不明

豫算府會本月日再開

去る三月十二日を以て散會した京城府一般、特別會計豫算府會は本月十七日再開に決定した、重要案件終了後の決算と戸別稅決定について審議を開始することになつた同時に同府會へは豫て實施條例を作成中の電車、バスに對する課稅條例案も上程、府會で審議を行ふ筈でおそらく足の課稅實施は同府會閉會後に行はれる模樣である

話題特急

☆…功成り名遂げた人の一生を、せめて美しい火口にして後世を弔ひたいの發心から創意工夫に日を傾けた新築火葬場が、このほど府の一主事によつて發明を見た

☆…京城府の葬祭場では事變以來重油を節約するために葬祭場主任阿部鹿之助氏に命じて、爐の改善工夫を練らしてゐたが、三月下旬漸く成功して無煙炭でも燒ける特殊裝置を發明、人間の膏は炎でなければ始末のつかなかつた燒場技術に大改革を與へた

☆…噂を聽いてさつそく東京方面からその道の人が見學にやつて來たが、この爐は國策型で天國へ行く人々の魂にはさぞ無限の滿足が浮かび上つてゐることであらう

家庭防護の用意はよいか
坂本防護課長愛國班へ叫ぶ

“想ひ起せ”四月十八日—敵米ははかなき望みとは言へ、吾の弛緩を狙ひ今必死になつて日本本土空襲を狙つてゐるのだ、敗戰潮落の反攻を日本空襲に企て、そこから日本の銃後に攪亂を起させようとする惡な戰略を弄してゐるのが、いま斷末魔に喘ぐ米英である こゝにわが銃後は昨年の“四月十八日”以上の固き覺悟と用意を鐵壁に構へなければならない、十日の全鮮愛國班常會に當つて總督府坂本防護課長は午後八時から京城中央放送局の電波を通じ“家庭防護の用意はよいか”と題してこの“米鬼の反攻”をとりあげて二千四百萬の防空挺身を強調するとゝもに愛國班の防護陣鐵壁の強化を叫んだ【寫眞＝坂本防護課長】

今晩は折角の

御集りの機會を得て家庭防空につき一言申上げ度い 先般は相當長期に亘つて臨戰警報の發令があつた、臨防團並に特設防護團の方々はもとより、一般家庭の方々におかれても皆樣各々と不自由の事もあつたであらうし、又大變御疲れのことと存ずる 私は此度この機會に於て愛國班の御一同が眞に必死必至の覺悟を新たにせられ、益々防空精神を昂揚せられ、飽までも待つあるを恃むの態勢を速かに整備せられんことを切に望んで止まぬ、事實本土空襲の危機は迫つて來た、かうして話をしてゐる間にも敵は一歩一歩と我が本土に近づきつゝあるのである、米國大統領ルーズベルトはその莫大なる資源と厖大なる生産力に物を言はせしきりに軍備の充實を圖り虎視眈々と對日反攻の機を窺つてゐる事は既に御承知の通りである

最近の新聞の

傳ふる所に依れば先般來太平洋方面の某基地から空母を中心とする敵快速艦隊が出動を開始し何事かを企てゝ盛んに蠢動しつゝあると言はれる事實又支那大陸、アラスカ方面の米空軍は鳴を潜めてひそかに出撃の途に上らんとしつゝあるものゝ如く或は又アラスカ方面のコンスタンテイン灣には二隻の飛行艇母艦が最近碇泊してゐると共にアリユーシヤン方面でも逐次飛行基地を推進してゐると云ふやうな事が報道されてゐるのであつてその間の情勢から容易に推測致さる樣に空襲は將に必至でありしかも目前に迫つてゐることを痛切に感じさせられるのである

斯うした情勢

下に於て怒濤逆卷く太平洋に或は支那大陸にソロモンに光輝ある祖國に敵機をして一歩も近づけしめまいと血みどろの死闘を續けて居られる皇軍將兵に對し私共は心から感謝をしなければならぬ、それと同時に若し我々の國土防衛に對する準備不充分であつたが爲に敵の企圖する如くに我等の祖國が蹂躙される樣なことでもあつたとするならば第一線に苦闘を續けて居る皇軍勇士に對して何とも申譯ない次第であると存ずるのである、然るに往々にして時局の認識を辨へずまだ〳〵平時的雰圍氣に耽つて居るが如きを散見するとは洵に遺憾に堪へぬ 街の状況を視ても歡樂街方面は殆ど平時と大差なく活動寫眞館の如きは寧ろ平時より觀客が多いといふ状態であり、無用と思はれる外出者が非常に目に着くばかりでなく街頭往來の人々の姿に殆ど非常時的緊張を見受けられないことは誠に遺憾と存ずる、甚だしきに至つては警報の發令を以つて國民の弛緩した士氣を引きしめる方便であらう等と暢氣なことを口にする不心得のものや今度の警報は本物か等と聞き合せるもの等に至つては全く言語同斷と申さねばならぬ

忘るな四月十八日
隣保相助、空襲の十訓

私はモンペを

穿いてゐる往來者が少ないことを憂ふるものでもなく、映畫を見る者の多い事を心配するものでもない、私の最も憂ふる點は根本的な問題として國民の決戰的心構へに果して缺くるものなきやを憂ふるものである、新聞紙の報道する處に依れば先般『ベルギー』の首府『アントワープ』が英空軍に依つて爆撃を受け死者二千名と報ぜられてゐる、重輕傷者を合すれば相當大きな數字に上るものと想像されるが、それが僅々五分間の出來事でしかないと云ふ 私共は空襲と云ふものが斯くも瞬間にそして突發的に而も豫想を裏切つて行はれると云ふ事を深く覺悟すると共に『アントワープ』の市民が英國からの空襲を全然豫想せず、從つて空に對する準備と訓練が殆ど出來てゐなかつたと云ふ事がかうした慘禍を惹き起したと云ふ點に深く思ひを致し以て他山の石とすべきであると思ふ

私共は叙上の

諸情勢に鑑み愈々空襲必至の覺悟を新たにして愈々防空陣の完璧を期するの要切なるものあるを痛感する次第である

以下家庭防空に就て氣の着いた點を二、三申上げたいと存ずる 先づ第一に家庭防空運營上の心構へに就てである 家庭防空は自家防空とも申して自分の家は自分で守ると云ふ建前に付ては既に皆樣御承知の通りである 然しこの觀念は一部の者には動もすれば自分の家丈守つてをれば他の家には全然關心を持つ必要が無いのだと云ふ風な誤解がないでもない樣であるが愛國班の中には活動要員のをらない家庭もあらうし或は手不足な家庭もある譯であるから相互が相助け合ふのでなければ決して防空の全きは期し得られないのである

殊に最近盛んに叫ばれてゐる油脂又は黄燐の大型燒夷彈の如きに至つては到底自分の微力では始末に負へないのであつて愛國班全員が總力を擧げ愛國班全體が渾然一體となり隣保相助の極めて麗しい姿になつてこそ初めて家庭防空の完璧を期し得られるのである、然るに從來の訓練の状況に徴するに或は一寸した病人があるからとか或は子供に乳を呑ませる時間だとか、些細な事柄を理由にして訓練に參加しない者がある、又一方には子供を背負つて訓練に從事し然も梯に登つて注水作業に當ると云ふ樣な場面も見受けられ、殊に參加不參加の問題より愛國班内に於いて相反目してゐるといふことを聞いてゐるがこれ等は家庭防空の根本理念を辨へざる結果であつて今後充分心すべきだと思ふ

次は家庭防空

にはどんな物が必要かと申すと先づ水槽、バケツ、火叩、鳶口又は長梯、筵や叺等の防火資材や防毒面、救急藥品非常袋、燈火管制具の資材を整備することが必要である、又防火用の爲に水は容器に出來る丈多量に準備して置くことが肝要である、特に將來は大型燒夷彈を使用せらるゝ爲一層多量の水を要さるゝこととなる、これにはバケツ、盥等は勿論のこと風呂桶、泉水、プール、水流等諸々の物を動員することが大切だ、砂は一升位宛布又は紙袋に入れ最少限度各家庭に二十五個位を備へつけて置かなければならぬ

第三は警報に

關ずる諸般の心構へである、先づ警戒警報の場合から考へて見ると大體次の樣な準備や心構へが必要である

一、貯水槽や風呂桶等に防火用水を充分に準備することが大切だ 又防火用具やその他の資材を點檢して不足のものや破損したものを整備して置くことも忘れてはならぬ

二、押入、戸棚、物置等を整理し燃え易い物件を始末することも忘れてはならぬ

三、無用の外出は絶對に避けること又夜は警戒管制を實施することは勿論である、服裝はなるべく活動し易いものを選び警戒警報發令中と雖も業務を休んで待機する等のことは適當でない

四、準備が出來たら警報旗を掲げ或は班長に對し警戒態勢の整つたことを知らしめることも必要である

次に空襲警報が發令された場合には左記の如き防護態勢を最も迅速に整へることが必要である

一、には全員が活動し易い服裝に帽子、手袋、地下足袋、防毒面携帶の扮裝を整へて待たねばならぬ

二、には瓦斯、火鉢其他一切の火元を始末することを忘れてはならぬ

三、には老幼病者を防空壕に避難させねばならぬ

四、には水槽、バケツ等總有容器に水を充分に充たし各部屋、二階等必要箇所に夫々配置して置くことが大切だ

五、には火叩や筵叺を水に濡らしポンプその他の資材は何時でも使用出來るやうに準備して置かねばならぬ

六、には障子や襖はなるべく一ケ所に取纏め火災の危險を避け活動の便利を圖ることが必要である

七、には貴重品や非常糧食、救急藥品を非常袋に納め萬一の場合を考へて置かねばならぬ

八、には隣家に接した雨戸等は閉め裏口、非常口、倉庫等の鍵は外して置くことを忘れてはならぬ

九、には屋内待避を實施する家庭では適當な箇所に待避所を設置して爆彈の破片を防ぐことが必要だ

十、には夜は光が絶對に洩れぬやう空襲管制を實施するのである

つぎに敵機が

現れた時の動作である が都市上空に敵機があれば緊急警報が發せられるし又軍防空機關のある所では高射砲も發射されるから各家庭では之に依つて直に活動に移り得る姿勢に於て豫め準備された防空壕や待避所へ一時待避するのである、若し待避施設のない場合は地形地物を利用して兩手を以て耳と眼を覆ひ口を開けて平伏することが防爆上絶對に大切な動作である、尚敵機の攻擊に對する諸般の活動々作に付ては平素から熱心に訓練してきられるし又時間の餘裕もないので之を省略しこの機會に以上の事項を申上げて特に皆樣の御留意を御願ひする次第である

夕刊
京城日報
發行所 京城日報社

英印軍悉く殲滅
インデン附近で旅團長を俘虜

大本營發表（四月十日十二時）帝國陸軍部隊はベンガル灣岸インデン附近に包圍せる英印軍第六旅團に對し連續攻撃を加へ四月八日に至り之を殲滅し其の旅團長ガベンディッシュを俘虜とせり

アキヤブ奪還の夢
憐れ敵最強の第六旅團

【東京電話】マユ河畔における英印軍大包圍殲滅戰後の戰鬪の大勢はマユ山脈とベンガル灣の中間の海岸道に沿ふ地區に移動、特にドンベイク北方約十キロのインデンを中心とする周邊地區は激烈な戰鬪の渦の中心となり、こゝにおいてわが方は敵の第六旅團の主力を包圍したが、八日朝に至つて遂にこれを包圍殲滅、旅長、准將ガベンディシユを俘虜とした

即ちマユ河畔の包圍殲滅戰から辛くも逃れた殘敵はマユ山系の中に入り込み退路を求めて所在に術策、ある時は嶮峻な山中においてある時はジヤングルの中において不敵に潜伏戰鬪を演じ、わが部隊はこの山中を或は東に或は西に縱横複雜なる戰況を展開し潰走に殘敵を掃蕩してゐるが戰鬪の大勢は海岸道に沿ふ地區に移動した

さきにマユ半島ドンベイクおよびラチヤング方面からアキヤブを狙はんとしてわが少兵力の部隊に果敢な肉彈反撃に阻止された敵第六旅團はインデン周邊地區において包圍されたわが部隊の主力に包圍された

去る五日以來この包圍圈は次第に壓縮され敵は死物狂ひの頑強な抵抗を試みたが、八日朝に至り遂に殲滅の運命に立ち至り、旅長ガベンディシユをはじめ多數が敢なくもわが方の俘虜となり死傷も莫大に上つた、かくてアキヤブ奪回の夢の尖兵に躍つた最強を誇る第六旅も三月ケ餘にして憐れを止める最後を迎へたのである、これに引續きわが部隊は到る處に局地的包圍圈を構成、殘敵を殲滅中である、この海岸道地區における彼我の戰鬪は極めて激烈である、敵は後方を脅かされながら海岸道

英印軍孤立を自認

【ハノイ九日同盟】當地に達したロイター印緬前線特派員の報道によれば、印緬國境ドンベイク北方の英印軍はマユ半島において日本軍のため孤立に陷つた旨確認し、日本軍はすでに印緬國境へ廿哩の地點まで到達してゐると報じてゐる

チッタゴン猛爆

【イスタンブール九日同盟】ニューデリー來電＝印度派遣反樞軸軍司令部は日本航空部隊が八日チッタゴン南方の反樞軸軍飛行場を爆撃した旨九日發表した

敵九機を撃破

【ビルマ〇〇基地九日同盟】わが陸鷲の精鋭部隊は八日戰爆連合の大編隊をもつてチッタゴン附近の敵飛行場を攻撃、在地の敵機九機を爆破炎上せしめ全機無事歸還した

我戰果を謳歌
獨紙印緬國境戰論評

【ベルリン八日同盟】九日のベルリン朝刊各紙は印緬國境において日本軍が收めた大戰果に關する大

を一歩一歩退却頑強な抵抗を行つてゐる

インデン方面では野砲、重砲の砲列を布きマユ山脈から下りて來るわが部隊を喰ひ止めるため、猛烈な射撃をなし、またわが包圍陣を脱出せんとあがく敵は重砲の猛射、爆撃の下ち戰車を伴ひ、突撃して來るが、わが方はその都度これを撃退してゐる、しかも包圍戰の脈絡とともに、いづれが敵か味方か解らぬ狀況も現出されてゐる

遺棄屍四千
魯蘇皖地區三月戰果

【濟南九日同盟】わが〇〇部隊が三月に收めた山東省および江蘇省、安徽省各北部、黄河南北地區における綜合戰果左の如し（括弧内は共產軍）

交戰回數四五五（二二五）▲交戰敵兵力一二一・六〇四（三三・一〇一）▲俘虜二・二九六▲遺棄死體四・一九〇▲鹵獲品小銃三・〇〇〇、拳銃一五八、輕機四九、重機二、平射砲二、迫擊砲二、擲彈筒一七、洋砲一八八、手榴彈二・一六五、その他多數▲覆滅せる敵側施設　兵器廠二、被服廠二

本營發表および各紙陸軍報道部長談話を一面トップ記事として詳細に掲げてゐるが、なかんづくフェルキッシャー・ベオバハター紙は次のやうに述べてゐる

英印軍によりしきりに宣傳されたビルマ奪回企圖は、今回の日本軍の作戰で完全に挫折した、ビルマは依然として孤立狀態にあり、ビルマは日本を主體とする大東亞共榮圏の一國としてその地位をいよいよ強化することが出來るわけである

米英軍の攻撃頓挫
樞軸軍 北阿の陣地擴大

【上海特電九日發】チユニジヤ戰況につき八日のドイツ軍公表は

南部チユニジヤ戰線では獨伊兩軍は極めて優勢なる敵の攻撃に對し頑強に抵抗中である、我陣地を突破した敵戰車部隊は激戰の後にこれを阻止し、我方の背後に廻らんとする敵の作戰は挫折せしめられた、我方は計畫に從つて新陣地に移動した、中部及び北部地區では敵は數回に亘つて攻撃を行つたが、甚大なる損害を被つて失敗に歸した

と發表した、ドイツ軍部筋當局は八日午後

チユニジヤ時にその南部地區の戰鬪は愈々猛烈となつてゐる、ト地區では英第八軍の主力及び米軍部隊は獨伊軍防禦陣地を突破したが、激戰の後喰ひ止められた

と言明した、

獨軍報道によれば戰場が鹹湖地帶戰線から北方へと移動して英第八軍と米第五軍との連絡が達成したことを確認してゐる、この結果樞軸軍の新陣地は從來の鹹湖地帶陣地北方からマグナッシュ附近の中部チユニジヤ山脈一帶に伸びるに至つた

危險極まる條件下旅行
イーデンお土產なしの辯明

【リスボン特電八日發】二週間に亙る訪米の旅を終へて過般ロンドンに歸還した英外相イーデンは八日下院に臨み、大要次の如く演説した

余の今回の旅行には途中で如何なる豫期せざる事件が勃發し使命の達成を困難ならしめるかわからず、その價値を評價することは困難であるが、かくの如き條件下における余の今回の旅行としては恐らくこれ以上の成果は到底望めなかつただらう

軍旗を捧持して雲南前線を行く〇〇部隊（陸軍省許可）

現地の實情を把握
決定事項は忠實に行へ
臨時局長會議 總督要望

總督府の臨時局長會議は十日午前十時より本府第三會議室において開會、まづ田中政務總監より道知事會議における總督訓示を實踐に移すに當つては次の三點に特に留意されたい、第一、錬成については形式的でなく錬成を通じて國體の本義に對する信念を透徹せしむるやうにしたい第二、生產增强については既定計畫の進行は勿論、極力技術を活用して獨自の境地を拓き朝鮮に負荷された使命達成に努められたい、第三、庶政事務の刷新については本府としては殊にお膝元の立場上創意と獨創の覇氣を以つて少しは失敗しても構はぬ位積極的態度をもつて進まれたい、また地方の面長、駐在所首席等の人選には充分考慮を拂はれたい

と道知事會議に現れた訓示と方針の徹底を要請したのち井坂東京出張所長、東京に於ける各省の朝鮮に對する空氣並に半島人の處遇待遇問題等を報告後内地に於ける半島人學生の就職問題に對しては關係當局も充分考慮を拂つてくれることゝなつた、また内地人の朝鮮に對する認識は今後一層啓發せねばならぬが特に言論機關方面に働きかける必要がある

と強調、最後に小磯總督より

道知事會議でも特に言つた如く本府諸課長並に職員は今後現地の實情をよく把握し認識を深めることに努められたい、如何なる名案でも現狀に適合せねば無意味である、何故かゝる事が普及せぬかと思ふのはその案が現實に即してゐないからである、また一旦決定した事項に對しては實行に忠實でなければならぬ、實行は承ることは承るが、實行は別問題だといふ如き態度は最もよくないとて今後各般の施策計畫の實施に當つて現實よりの遊離を厳かに戒めると共に實行については之を徹底的に且つ忠實になすべきことを强く要望、各局長との自由懇談に入り午後零時十分散會した

調査指導班を設置
四月下旬より一齊農村實態調査開始

決戰下半島に負荷された農業增產を整備すると共に計畫的綜合生產の完遂を期すべく總督府農林局では昭和十八年度において劃期的な朝鮮の農業實態調査を實施することゝなり、すでに四月初旬までに一切の準備を完了、四月下旬より今夏八月までに全鮮一齊に稀有周到なる農業實態調査を行ふことしてゐるが、本府では更に本調査の正確を期するため特に調査指導班を設置することとなつた

右の調査班は湯田農林局長を調査指導本部長とし農務課、農產課、上野農政、各關係課長及び吉池穀物檢査所長を指導委員とし、其の下に農林局各課の事務官、技師技手の專門家を網羅する調査班を編成し、四月上旬より調査完了に至るまで、それぞれ責任分擔による各道の農業實態調査の指導並に各道間の連絡等に當り、調査の正確、統一を期せんとするものである

なほ農村實態調査中國有火田の調査については山林課、保護區が中心となつて調査を進めることゝなつてをり、目下調査方法等について農林局に於て考究中で、更にこれと併行して民有林の開發についても具體的に調査することゝなつてをり、右の農村調査完了の曉は半島農村の實情に即する劃期的農業增產計畫が具體的に樹立されることも飛躍的に進展するものと期待されてゐる、調査指導班の分擔次の通り

▲班長　岸農政課長（京畿道）伊東技師、山本技手（江原道）二階堂技師、山口技手▲班長厚地農產課長（全南）相川技師、北技手（慶北）金岡事務官、武内技師、岩本技手（黄海）千田技師、岩本技手（咸南）堀山技師、勝當技手▲班長　上野農政課長（慶南）石井技師、萩野技手（平北）大河原技師、關根屬（忠南）横山事務官、皆川屬（咸北）藤吉理事官、淺川屬▲班長　吉池穀檢所長（忠北）若田技師、松瀨技手（全北）大谷技師、紀技手（平南）氷見技師、松瀨技手

今月中に油脂統制支部設置
歸城の大島協同油脂社長談

【釜山電話】油脂統制會臨時總會に出席のため東上中の協同油脂社長大島俊士氏は十日『あかつき』で歸城したが車中で語る

この度の總會では南方から相當量入つてくる原油の輸送方法及び各會社に對する配給などが大きな問題として取り上げられた、今年度統制會の賦課金は百卅萬圓程度に落ちつく模樣で、昨年度よりやゝ多くなつてゐる、なほ來年度一般豫算も決定された

價格統制會は既に内地では一元化され活潑に動いてゐるが、朝鮮も今年度から全面的に加入することゝなり今月末じゅうにはなんとか目鼻がつき支部を設置、理事長も置くことにならう

噫〝雲むすかばね〟
配置に死ぬ海軍精神
空母〇〇 海航佐〇〇長談

（前略）

…かな小波があるだけだつた、戰場セイロン島、インド洋をめざして航空部隊を中心とわが艦隊はセイロン島へと進撃する、鷗が海上に飛んでゐる、空には一面に積亂雲がもくと浮び上つてゐる、風は靜か、好の突擊日和だ、朝まだき、わが二機三機と飛行甲板を蹴つて飛翔した、出足は至つて、手を振つて壯途を見送る整備兵たちの晴れやかで眞劍な顔、その上空で忽ち編隊が組まれた、わが海軍獨特の陶然のと鮮かな編隊である、整備員が見送れた白い艦内帽を力一杯振るうちに編隊はインド洋上を蔽ふやうに彼方に吞まれてしまつた

コロンボの街は朝であつた、港に眠りから放たれて何機かの小波を立てゝ無心に眠りけてゐる、わが攻撃隊は港上空を壓して一斉に襲ひ掛つた、爆弾が雨のやうに降りそゝがれ、數彈は石油タンクに、その他は港湾の各施設に

命中黑煙

が濛々と上り、港は瞬時にして黑一色に塗りつぶされてしまつた、角砲陣地は開眼界も利かぬほど黑一色に塗りつてたため何らの反擊もない、敵機は狼つて次の獲物を港内に逃げ惑ふ船舶に挑みかゝる、高角砲がやつと砲口を空に向けて吼え始め、中空で炸裂する、編隊は風を截つて悠々と獲物から獲物へと物色する、狹い港内を逃げ惑ふ汽船の舷側に鮮かな水柱が立ち黑煙が包んだ

その時だつた、西の空から黑い斑點のやうな敵機が近づいて來たわが編隊は俄に武者ぶるひをして機は大きくなり空一面に爆音が轟つた、編隊を率ゐる艦爆中隊長〇〇大尉の胸はカツと大きく燃えた『よしツ、續け』〇〇大尉機は小癪にも行手に立ちはだかる敵機に對して唇をキユツと結び操縦桿を握り直した瞬間、大尉は愛機の一部に異狀を察知した、蛇のやうに執拗な敵の偶然の一彈が燃料タンクを射拔いてゐるのだつた、火を吐いてゐる、はじめは細く徐々に流星のやうに落ちる燃料が赤く燃え續けてゐる、大尉はヂツと機上で眼をつむつた

致命傷だ

歸途につくとしても到底母艦までは歸れぬ、と觀念したしかし指揮官機として部下をこの際どう導けば適切であらうか、次第に傾く愛機の中で腕を組んでゐた大尉は豁然と悟つたやうに報告を送つた

『航法ヲ密ニセヨ』

指揮官機の溢れるやうな親心から認めた部下への注意事項だつた大尉は燃える愛機から辛うじて上半身を乗り出して、報告を親艦の悲運に泣く僚機に示した、子機はそれを領くやうに二、三回翼を羽搏くのであつた、翼と翼とで互ひに應ずる訣別の言葉が交はされるや、大尉は責任を果したもののみが知る快心の笑みを一杯浮べながら操縦桿をグツと持ちかへ、紺碧のインド洋上目指して壯烈な自爆を遂げたのであつた

同じ日の

朝依然としてインド洋は静かに小波が細紬紋を描いてゐた、次の目標はシンガポール陷落後英國がインド防衛のため躍起となり擴張に大童のツリンコマリー軍港であつた、朝の攻擊を終つて翼を休めてゐるわが航空部隊に敵物を索すために早朝から飛び廻つてゐる哨戒機から電波が入つた『敵航空母艦發見』の快報だつたのだ、飛行甲板には間髪を入れずプロペラが唸つた『敵航空母艦の地點〇〇』と再び殊勲の哨戒機からの無電だ、久しぶりの大物發見にグツと喰ひ下らうとする哨戒機からの雀躍ぶりが眼に映るやうだ

艦隊からインド防衛に廻された一萬八百五十トン、速力廿五ノツトの優秀艦である、わが攻撃を避けての待避か、あるひは小艦にもれに立向はうとするのか、驅逐艦を伴ひ南下中といふのである、戰爆隊長〇〇少佐はハーミス撃滅の報とゝもに指揮官として勇躍出動した、無電が報じた發見地點まで編隊を引率して母艦を飛び立つ少佐の胸は高鳴つた、グツと高度を下げながら編隊はインド洋上を驀らに進む

目的地點

には敵艦の姿が見えぬ『よしツ徹底的に探さう』少佐機はセイロン島の海岸に沿つて更に南に下り、再び北進してツリンコマリー軍港附近まで北上したが敵影らしきものはなかつた、母艦を蹴つてから豫定時間はずつと超過してゐる、燃料も精一杯だ少佐は呼吸が亂れがちになるのを感じたあくまでも僚機を指揮して探ふやうに後方を見やると部下機が隊長機を…

『もう一息だ、見失つてはなるものか』

再び當然南進したとき、少佐の眼は洋上の一點にグツと吸ひつけられた、まるで鯨戰のときのマライ沖を自信ありげに悠々と走る不沈艦プリンス・オブ・ウエルズのやうに油艦に傲つたハーミスが驅逐艦一隻を伴つて南下中ではないか、隠密捜索しからず好餌待つたとばかり、わが一番機はサツと急降下、續く二番機、三番機も爆撃の雨だ、一方では雷擊機が腹に魚雷を抱いて疾風のやうに挑みかかる『手應へあつた』と叫ぶうち左舷からは大きな水煙りが立ち甲板からは火を發して黑い煙が艦を包んでしまつた

以上がハーミス擊沈の裏面に秘められた〇〇少佐の徹底的搜索の苦心である、同少佐はこの武勲を樹てた日の歸途圖らずもインド洋上で敵機ロツキード・ハドソン六機と遭遇し激烈な空中戰鬪ののち三機を擊墜しインド洋作戰に數々の偉勲を樹てた、技術人物とも戰拔の有爲の士官であつたが、更に〇〇海戰に參加して壯烈な戰死を遂げたのである

參戰中華民國へ
佛印の協力必然
歸任の芳澤大使語る

【西貢九日同盟】九日正午西貢に到着した芳澤大使は午後四時大使官邸において邦人記者團と會見、大要次の如き談話を行つた

私は東京滯在中政府、民間各方面と種々懇談したが、中央も佛印に對しては相當深い理解を示し私との間に意見の齟齬などは殆どなかつた、佛印は最近特に對日同調の度を加へつゝあるが、これと同時に參戰中國への協力も必然的に行はるべきで、對支經濟提携などもその一例と思はれる、またこの點で、それだけ對重慶政策も當然佛印の對國府協力關係の度が深まれば、それだけ對重慶政策も當然變化すべきである、現在フランス本國あるひは佛印が重慶に對し積極的行動に出るとは思はれぬが、フランスの重慶からの離脱は私個人としても期待するところである

米『物價凍結令』を公布す
荒療治に坑夫組合不滿表明

【ブエノスアイレス九日同盟】ルーズベルトは八日夜『物價凍結令』を公布したが、ワシントン界筋においては右凍結令は農民ならびに坑夫の兩勞働階級に對する挑戰と解してゐる、…農民團は上下兩院を通じ農產物價格引上法案を提出し、大統領の拒否を受けた許りであり、さらに坑夫組合はアパラチヤ山脈地帶を中心として現在賃銀引上げの交渉を重ねてゐるが、これらの兩階級がルーズベルトの荒療治に屈服するかどうかは相當疑問視されてゐる、米國坑夫組合會長ルイスは八日夜大統領の公布と同時に次の通り言明した

ルーズベルトの賃銀凍結令によつて鑛業界の問題は聊かも變らない、坑夫は依然として飢に迫られてパンのための要求が政爭の具に供されてゐることに對して不滿を禁じ得ない

驅逐艦、油槽船などを喪失
米、フロリダ島沖損害小出し發表

【ブエノスアイレス九日同盟】ワシントン來電＝フロリダ島沖海戰に關し米國海軍省は空軍七機の損失を認めたのみで、艦船に關しては發表を渋つてゐたが、九日に至り驅逐艦、油槽船、コルヴエツト艦、小給油船各一隻が沈沒した旨損害の一部を發表した

英のド・ゴール無視に滿足
米戰時情報局長官見解發表

【リスボン特電八日發】反樞軸軍司令官アイゼンハワーによるド・ゴールの北阿訪問延期要請に對するド・ゴール側の不滿にも拘らず米英兩首腦部間の意嚮は大體ド・ゴールを無視してジローをフランス叛逆政權の代表として支持せんとするものゝ如くである、ワシントン來電によればアメリカ戰時情報局長官エルマー・デービスは七日の記者會見でド・ゴールの北阿向け出發延期問題に關して次の如き見解を發表した

關係當局は全部アイゼンハワーの決定したド・ゴールの出發延期要請に贊意を表してをり、アメリカ政府は英首相チャーチルがアイゼンハワーの措置に同意したことに對して滿足してゐる

米戰艦アイオワ進水

【ブエノスアイレス八日同盟】アメリカ海軍省は二月十八日四萬五千トンの戰艦アイオワ號が豫定より七ケ月早く進水した旨發表したがジエーン海軍年鑑によれば同艦の性能は次の通り

排水量四萬五千トン、備砲十六門、五インチ砲九門、二十インチ砲…、艦載飛行機…、速力卅ノツト以上、なほ八十フイート、…

…て建造中のものにシー、ミゾリー、ウイスコンシン、ケンタツキー

佛首相國民に呼びかく

【パリ九日同盟】ラバール首相は來る十八日…年に際しラジオを通じ國民に呼び掛け、英米軍のアフリカ侵入以來の内外情勢を回顧し、ペタン元帥を中心とする團結、國難を切り拔けるため國民に要請するものと…

敵側和蘭官憲の被害

【ベルリン九日同盟】三月廿九日から四月…樞軸軍のオランダ官憲に死傷總數三百七十…と言明した、また…ドイツ兵一名死亡、…トヲーブ爆擊でベル…名が重傷を負つたと…

伊羅の文化協定調印

【ブエノスアイレス…】伊羅兩國文化協定は…トにおいて、ルーマ…ロピッチ氏とイタリー…ペ氏との間に調印さ…

亞國防衛司令部新設

【ブエノスアイレス…】アルゼンチン政府は…衞司令部を新設、…パ大佐を正式に司令…

消息

◇山澤佐一郎氏（…事長）十日入城…
◇美濃谷…三郎氏（…事）新任挨拶のため…
◇久保田豐氏（…）東京より十日歸城
◇笹川恭三郎氏（…長）十日『あかつき』…
◇小泉弘氏（本府…）
◇川岸文三郎氏（…長）九日入城朝鮮…
◇千葉純彦氏（京城…）新任挨拶のため…
◇田中鐵三郎氏（…）方面へ出張中十日…
◇加藤五十造氏（…）十二日午後より…
◇近藤直治氏（同上）り歸城
◇窪田政一氏（京城…務課長）新任挨拶…
◇兒島高信氏（…）のため十三日東上…